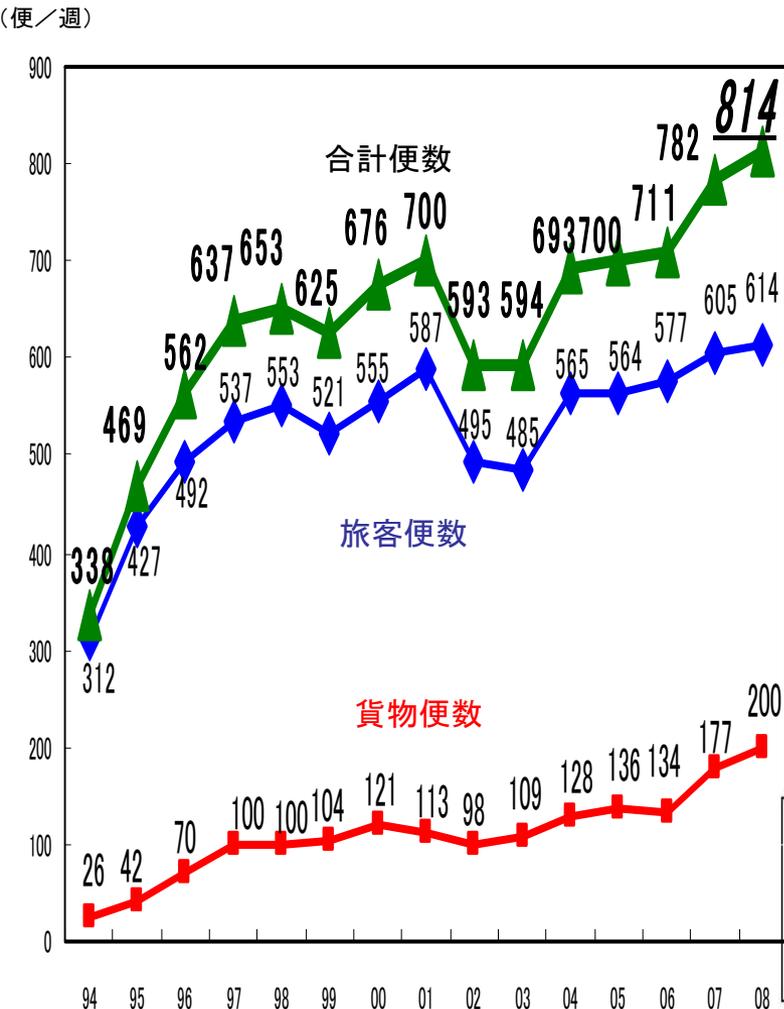


《海港と空港の連携》

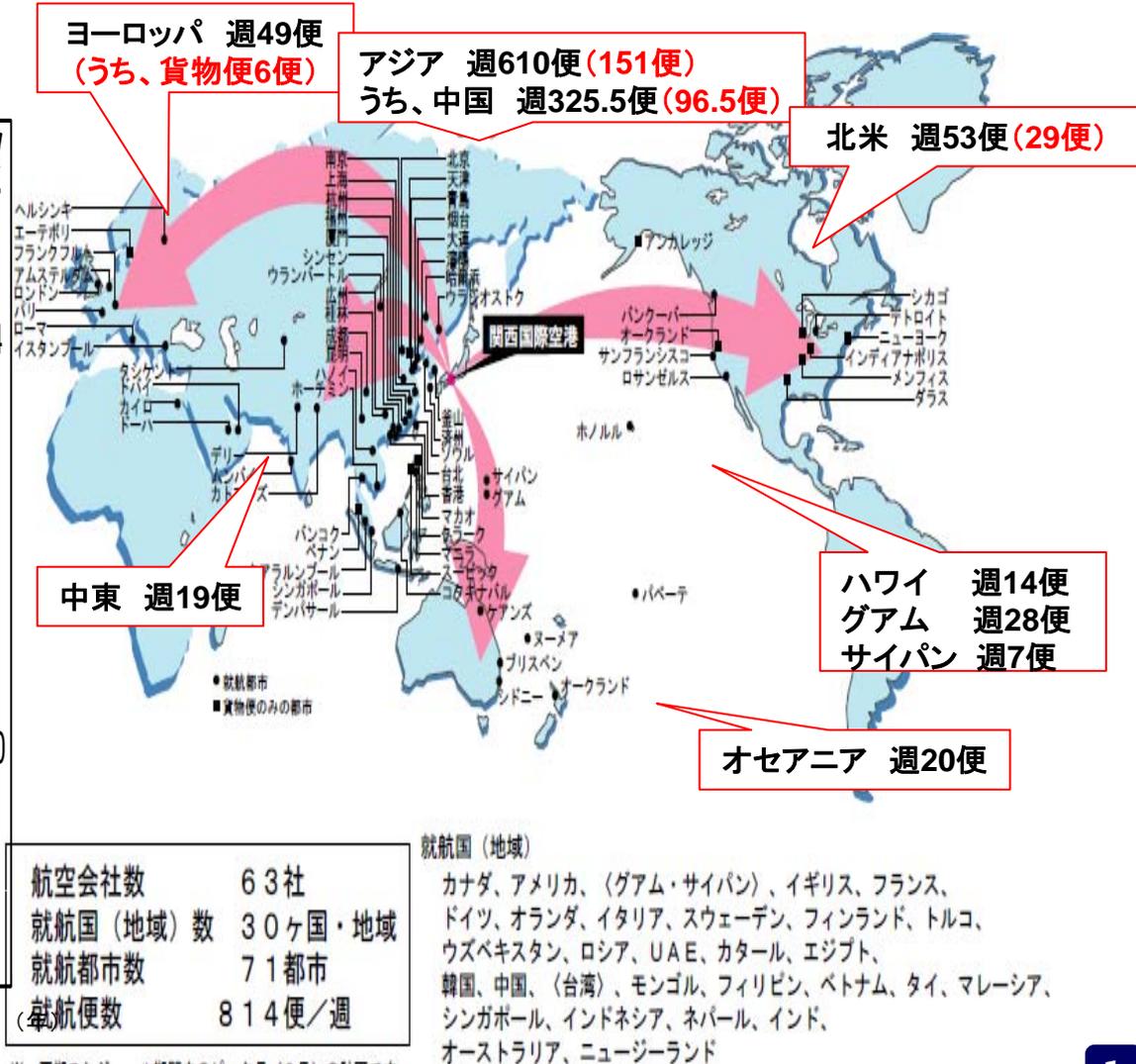
平成20年度 関西国際空港における 航空物流機能強化の取り組み

関空の国際線便数・ネットワーク (2008年夏期スケジュール)

○国際線夏期スケジュール就航便数の推移
(定期便のみ)

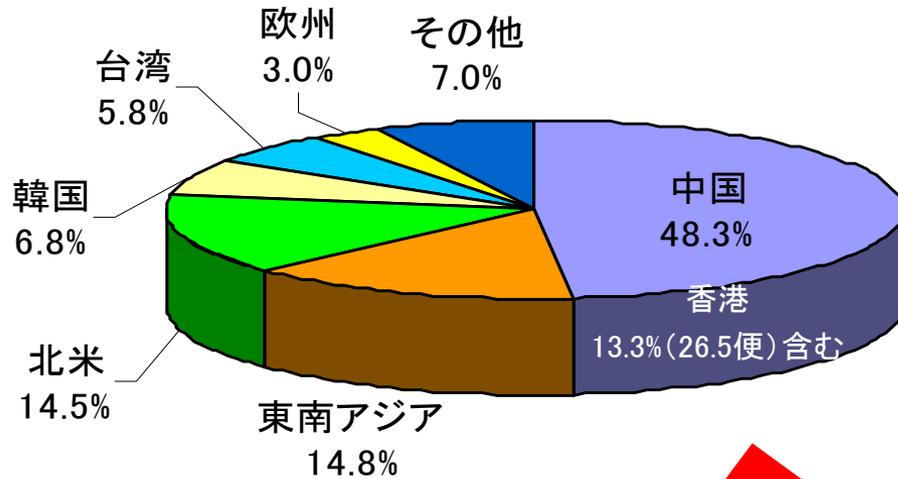


○国際線就航状況<2008年夏期スケジュール>
(定期便のみ)



関空の国際貨物便就航状況(2008年夏ダイヤ)

- ◆便数、就航都市数ともに成田を上回る**日本最大の中国への貨物便ネットワークを形成**
- ◆中国・アジア方面と充実したネットワークを保有する関空はアジアのゲートウェイ



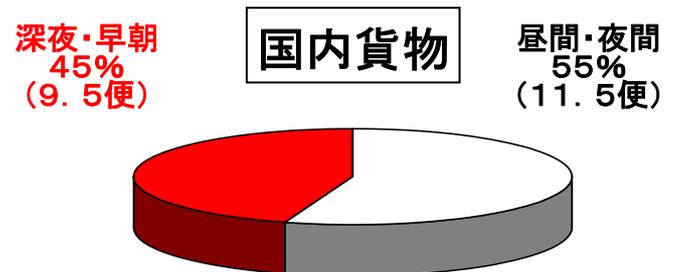
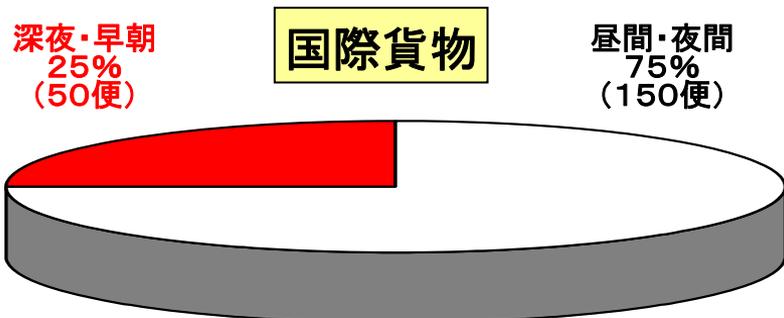
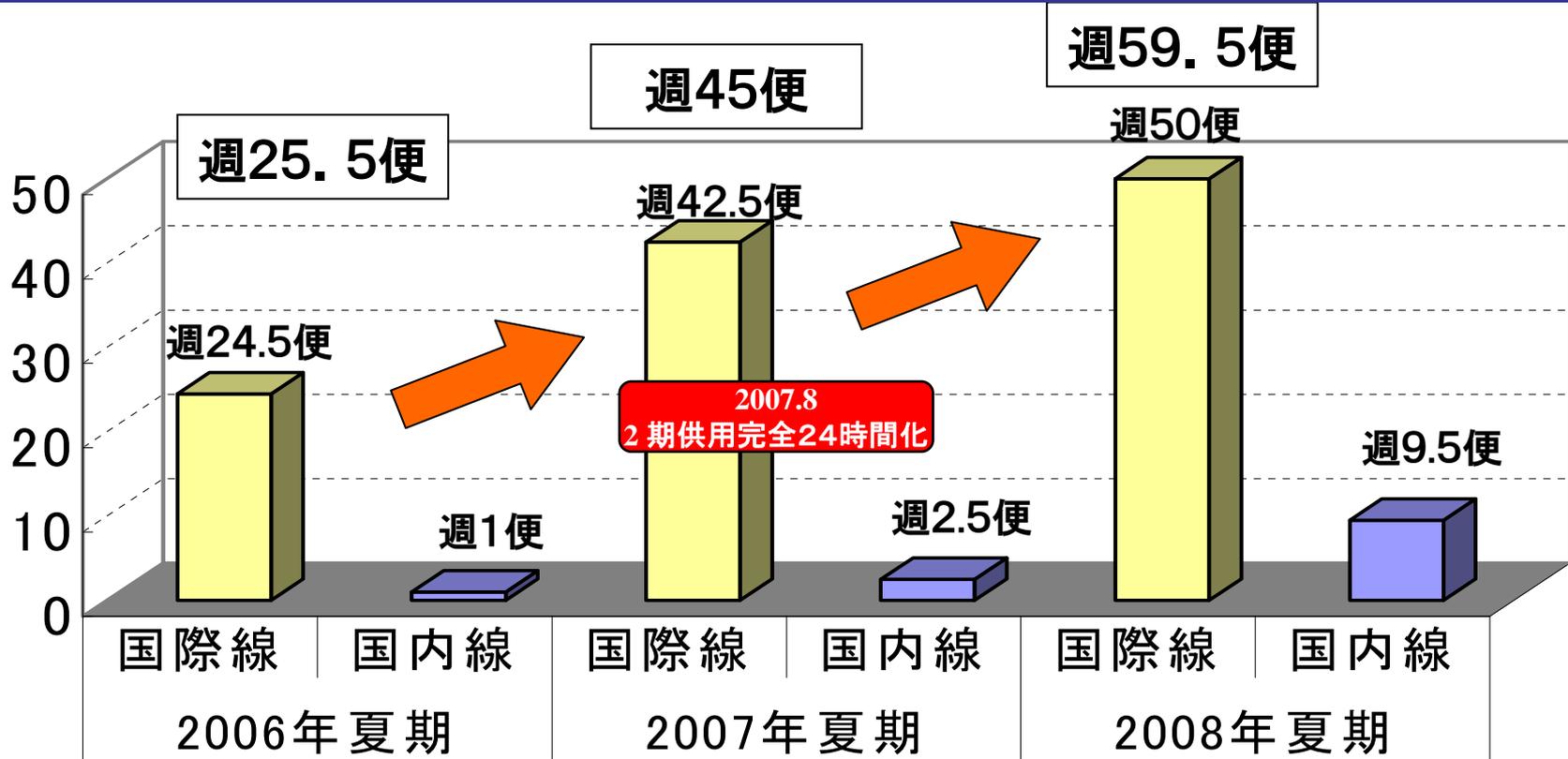
日本最大の中国貨物便
週96.5便 (貨物便全体の47%)

- ・ 就航会社数15社
- ・ 就航都市数9都市
- ・ 週間便数96.5便

方面	中国	東南アジア	北米	韓国	台湾	欧州	その他	計
07S	87.5	27.5	23	12	7	6.5	13.5	177
08S	96.5	29.5	29	13.5	11.5	6	14	200
08Svs07S	9.0	2.0	6.0	1.5	4.5	▲0.5	0.5	23.0

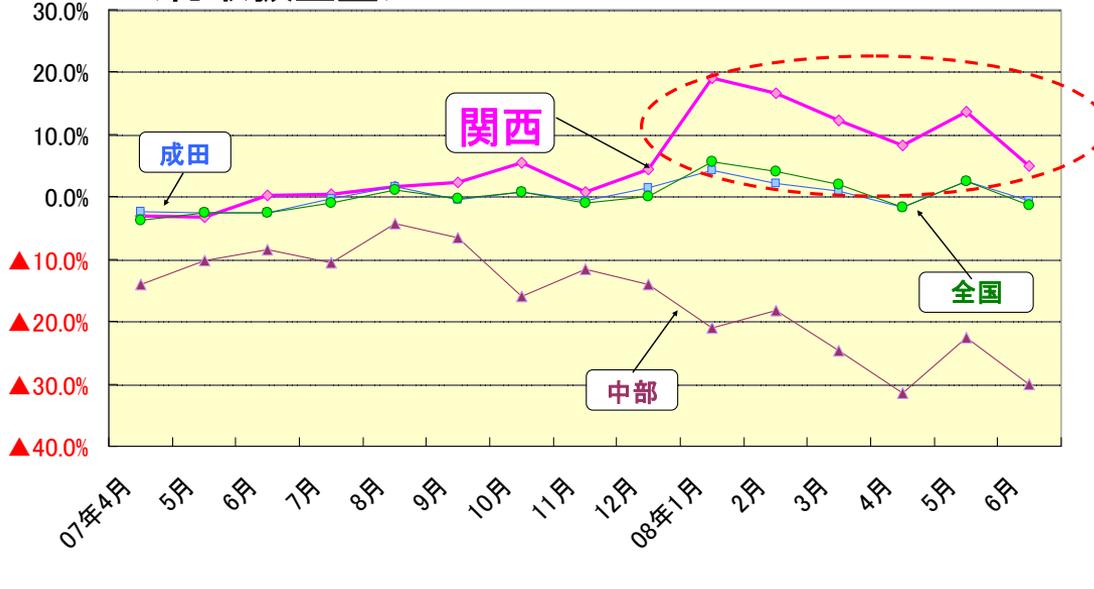


関空の深夜早朝貨物便就航状況 (2008年夏ダイヤ)



関空の最近の国際貨物動向

(前年比) <総取扱重量>



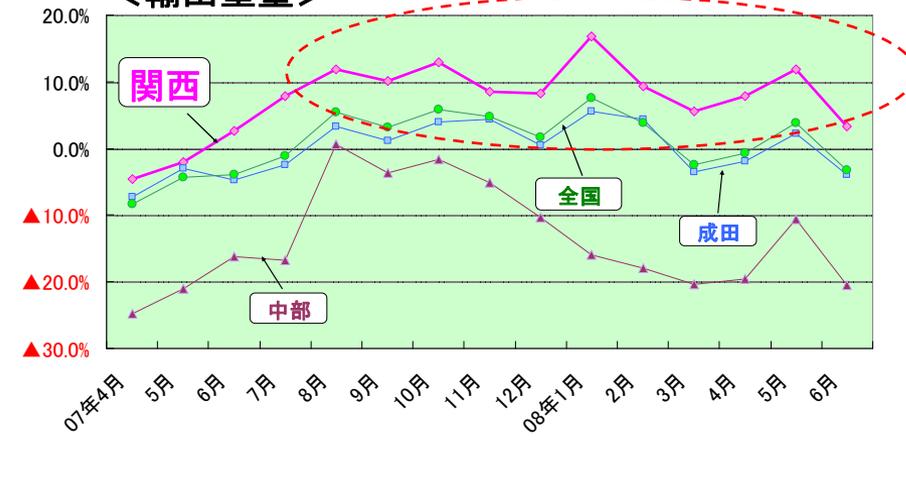
<2008年上半期の動向>

	国際貨物取扱量	前年比
関空	39.8万トン	112%
成田	106.4万トン	101%
中部	8.0万トン	75%

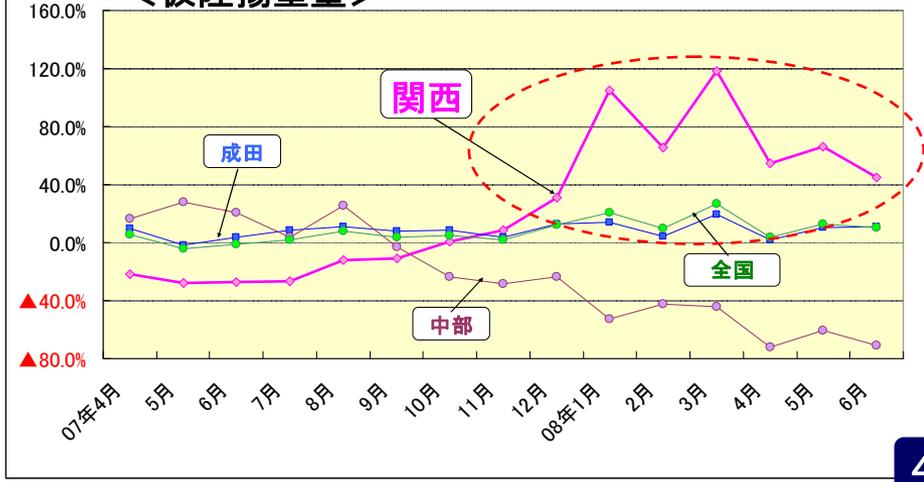
	国際貿易額	前年比
関空	3.7兆円	105%
成田	11.8兆円	95%
中部	0.9兆円	90%

(前年比) <輸出重量>

全国平均・成田の伸び率を大きく上回る！！



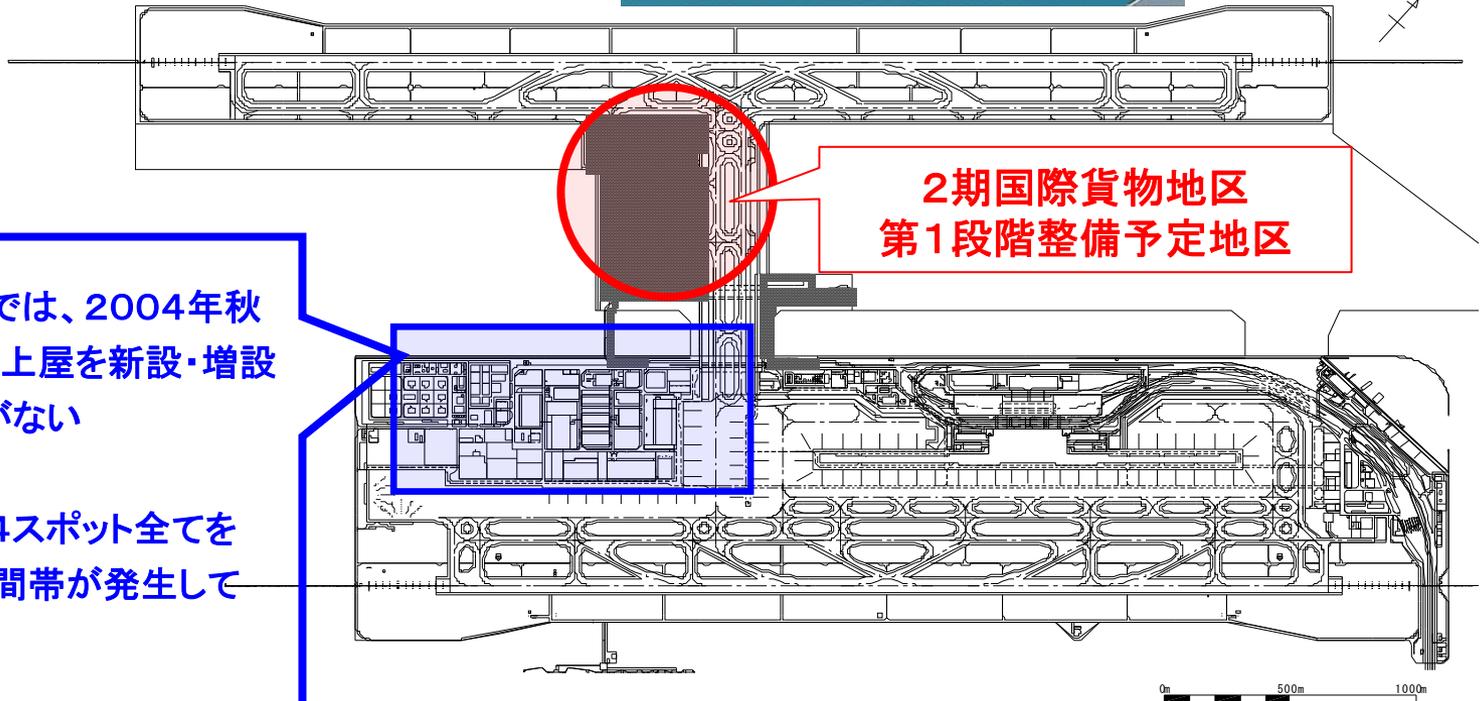
(前年比) <仮陸揚重量>



関空2期貨物地区の整備動向

2期島貨物施設整備予算 35.5億円

整備内容 貨物エプロン5スポット
道路・トラックヤード等
一期貨物地区との連絡道路



2期国際貨物地区
第1段階整備予定地区

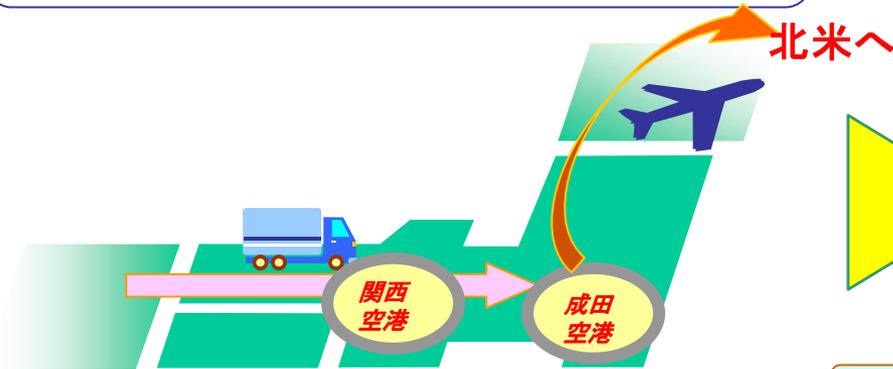
1期国際貨物地区では、2004年秋以降、10棟の貨物上屋を新設・増設し、既に拡張余地がない

エプロンも、既存14スポット全てを同時に利用する時間帯が発生しており、既に狭隘化

北米向け貨物便ネットワーク強化モデル事業 ～関西・西日本の貨物は関空から～

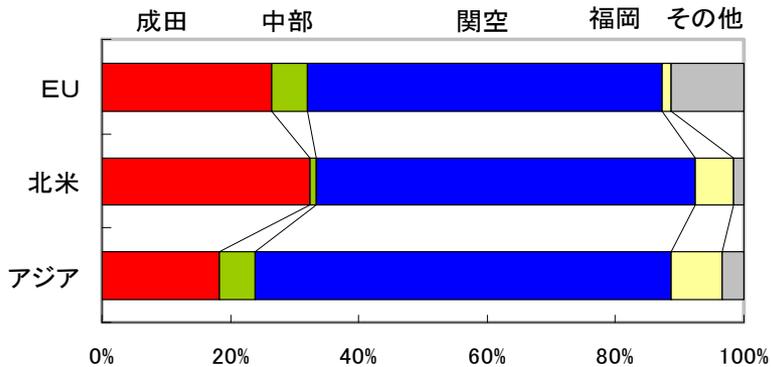
1. 現状

- ・関西、西日本から成田空港へトラックで貨物を輸送。
- ・特に北米に向けては3割以上が成田空港発。
- ・その結果、リードタイムも1日余分に要している。



荷主、フォワーダーから北米向け貨物便の便数やスペース供給の強化について強い要望あり！

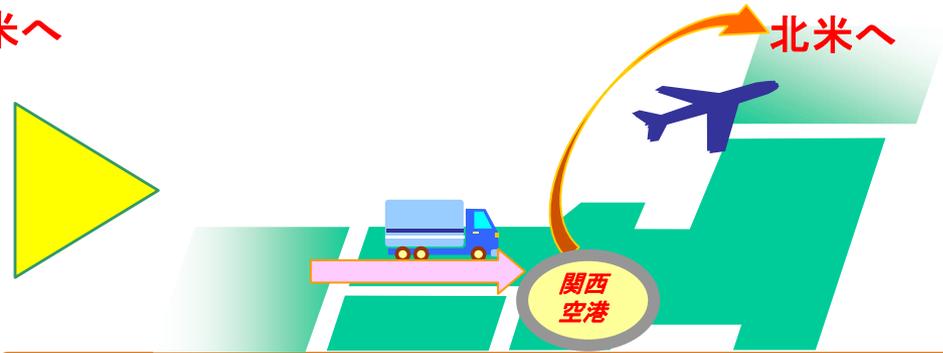
西日本発の航空貨物の利用空港(重量ベース)



出所:財務省・税関「平成2006年9月輸出入貨物の物流動向調査」より作成

2. モデル事業 (北米向け貨物便ネットワーク強化)

- ・関西、西日本の貨物は関空利用促進をプロモーション。
- ・北米向け国際物流効率化(リードタイム1日短縮等)の検証。
- ・北米向け貨物便ネットワークのさらなる強化につなげる。



北米向け貨物便ネットワーク強化のモデル事業の概要

- ①期 間:2007年11月5日～2008年3月末
- ②対象便:
 NCAのロサンゼルス便(B747、07年内は週2便、08年1月から週3便)
 JALのロサンゼルス便(B747、08年1月から2月に週1便)
 ANAのシカゴ便(B767、08年1月から週4便)

モデル事業の効果

今回のモデル事業便のダイヤ設定(特に関空の午前発)では、競合する他の便の利用に比べて、明確なリードタイム短縮効果を把握することができなかったが、事後のヒアリング調査等で以下の効果が明らかになった。

- ゆとりある集荷時間の確保(荷主は出荷時刻を遅らすことが可能)
 - 突発的な需要のオーバーフロー回避、直行便による輸送安定化
- ⇒荷主企業、フォワーダーからは概ね評価され、便数増・ダイヤ改善・仕向け地拡充を求める声があった。

関空深夜貨物便を活用した農水産物物流ネットワークの確立に向けた検討

関空深夜貨物便を活用した農水産物物流ネットワーク確立検討会議の設置(H20.6.26)

趣 旨 : 輸出量の拡大が見込まれる中国をはじめとするアジア地域への近畿産農水産物の輸出促進に向けて、関西国際空港の深夜貨物便の活用による物流効率化を図る。

参 加 者 : 近畿運輸局(事務局)、大阪航空局、近畿農政局、大阪税関、神戸植物防疫所、関西経済連合会、関西国際空港(株)、大阪府、和歌山県等

調査検討テーマ : 近畿圏における農水産物の輸出実態調査、関空深夜貨物便を活用した国際物流効率化モデル事業の実施
関空を活用した農水産物物流ネットワークの確立方策など

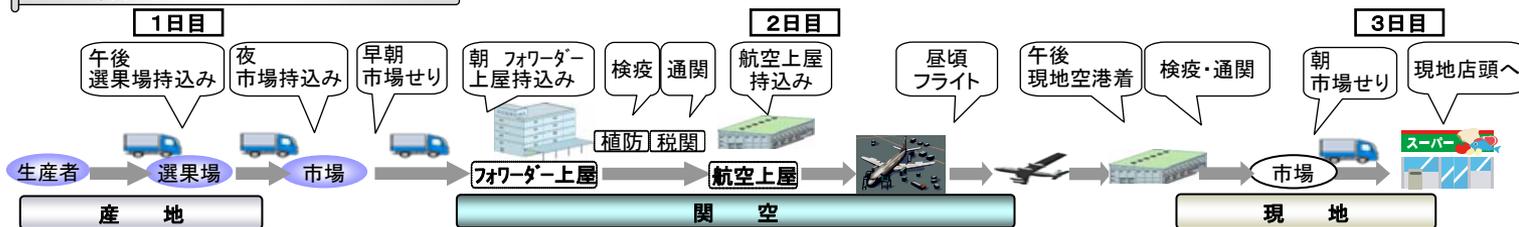
国際物流効率化モデル事業

関空深夜貨物便を活用することにより、近畿産農水産物輸出における
①物流の効率化 ②リードタイムの短縮 ③品質保持を図る

1. 和歌山産桃の輸出モデル

品 目 川中島白桃
数 量 5ケース(20kg)
輸出日時 8月8日(金)
午前3時5分関空発
輸出先 台湾(台北市)

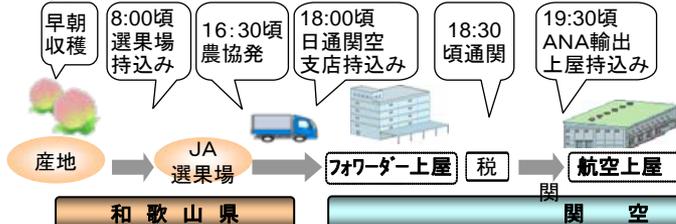
一般的なケース



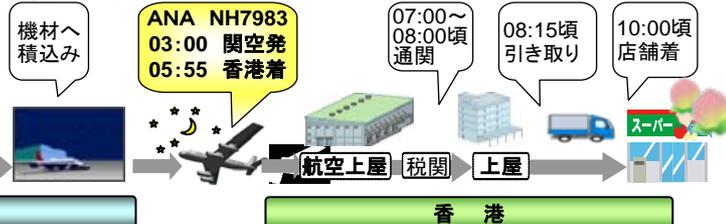
関空深夜貨物便を活用

モデル事業

8月18日



8月19日



3. 和歌山産桃の輸出モデル

品 目 川中島白桃
数 量 5ケース(20kg)
輸出日時 8月19日(火)
午前3時関空発
輸出先 香港

制度面の取組

貿易手続改革プログラム(2008年4月1日施行)により、航空物流は更に便利に使いやすく

2008年度関税改正に反映された「貿易手続改革プログラム」

○臨時開庁手数料の廃止と臨時開庁申請手続の簡素化(関空においては手続き不要)

<これまで>



<2008年度～>



○AEO運送者制度の導入(保税運送に係る特例)

AEO (Authorized Economic Operators) 運送者

=コンプライアンスに優れた航空会社やフォワーダーには保税運送承認が不要に

